

介護送迎車の相乗りサービス「福祉ムーバー」を運営するソーシャルアクション機構（群馬県高崎市）などは、小学生を民間の学童保育施設へ送迎する実験を始めた。送迎車版「ムーバー」とも呼べる同サービスで遠方から児童が通えるのか確認する。成功すれば2022年4月から正式に開始したい考え。

「児童は問題なく送迎車を利用してきている。関心を持つ人もいるので、秋には対象エリアを広げて実験したい」。学童と英語教育を組み合わせた「英語で学童」を高崎市内で運営するグローリーハイグレイス（同市）の相京恵社長は話す。

同社などが6月から始めたのは学童「ムーバー」の実験。デイサービスを扱う高齢者を乗せる車両が、本来の送迎ルートから外れて放課後に児童を迎えに学校へ行く。無事に学童へ届けると高齢者の送迎ルートに戻る。今回の実験対象は1人。以

# デイサービスに相乗り実験

前は父親が車で学校から学童へ届けていた。7月20日まで実施する。

元となった福祉ムーバーは送迎車を活用した移動サービス。米国発の配車サービス「ウーバー」のように、スマートフォンアプリで依頼すると近くを走る送迎車が迎えに来て目的地へ運ぶ。電話での依頼も可能。

福祉施設を展開するエムダブルエス日高（高崎市、北嶋史督社長）が発案。同社を中心にして設立された一般社団法人の

## 福祉車両、学童も送迎



介護送迎車が放課後に小学生を民間学童へ届けている（群馬県高崎市）

### ソーシャルアクション機構

ソーシャル機構が運営するエヌ（高崎市）がスタッフを現地に派遣して見守る。現在ではエムダブルエス日高の車両を使い高崎市などの一部地域で実施。主に同社の施設利用者が使っている。

一方、5年前に始めた「英語で学童」では、英語教育の広まりや共働き家庭の増加を受けた学童需要の高まりで希望者が増加。現在、2施設に35人が通う。近隣から児童を受け入れており、提携するタクシーを利用したり徒歩で付き添ったりして送迎もしている。遠方の希望者も増えたが障害となるのが送迎だった。そこで相京社長は知り合

い北嶋社長に相談。今回の実験につながった。学童ムーバーではアプリを使わず、事前に1週間分の送迎予定をソーシャル機構側に伝える。課題となったのが放課後に校庭で車を待つ児童の安全確保だった。そこで児童発達支援などのプラス

## 群馬の特産品 広ま



「ぐんまちゃん」のアニメについて発表する山本一太郎群馬県知事（1日、前橋市）

BS京都など関東・関西圏の8つのテレビ局で放映する。群馬県の山本一太郎知事は「（アニメ化による）ぐんまちゃんの人気上昇で）群馬県の特産品の消費拡大の初代監督を務めた山本氏が監督と脚本を担当ぐんまちゃんには声優の山本知事は「かなり楽しんでるが、子どもも一緒に楽しめるエンターテインメント作品だ」と胸を張る。8日にも群馬会館（前橋）初回放送分の先行試写するといふ。

## 水戸市のワクチン接種予約

### 45〜49歳、15日に開始

水戸市は45〜49歳を対象とした新型コロナワクチンの予約受け付けを15日に始めると発表した。49歳以下は延期していたが、米ファイザーのワクチン供給に一定のめどが立ったという。また未定だった8月下旬以降の大規模接種は日程と回数を縮小して行う。

市総合運動公園での大規模接種が9月26日からはインターネットから、2回目には1回目を受けた医療機関や大規模接種会場に予約してもらう。ただワクチン不足は解消しておらず、18〜44歳からの受け付けは現時点で未定としている。

お断り「Bizマーク」は休みまし

## 北関東

支局 水戸市 029-2221-3286  
つくば市 029-8522-1033  
宇都宮市 028-6222-1174  
前橋市 027-2223-3111